

2020 東京オリンピックのキャンプ地を活用した地方創成

～「野球」のまち 徳島県阿南市を事例にして～

大阪経済大学

田島ゼミ3

小林 巧典 寺澤 佑記 井脇 郷介

目次

1. 政策提言の背景

～オリンピックキャンプ地の必要性和レガシー～

2. 政策提案

～野球＝阿南市 を目指して～

3. まとめ

6732

1. 政策提言の背景 ~オリンピックキャンプ地の必要性和レガシー~

地方に広がる事前キャンプ

204か国

X

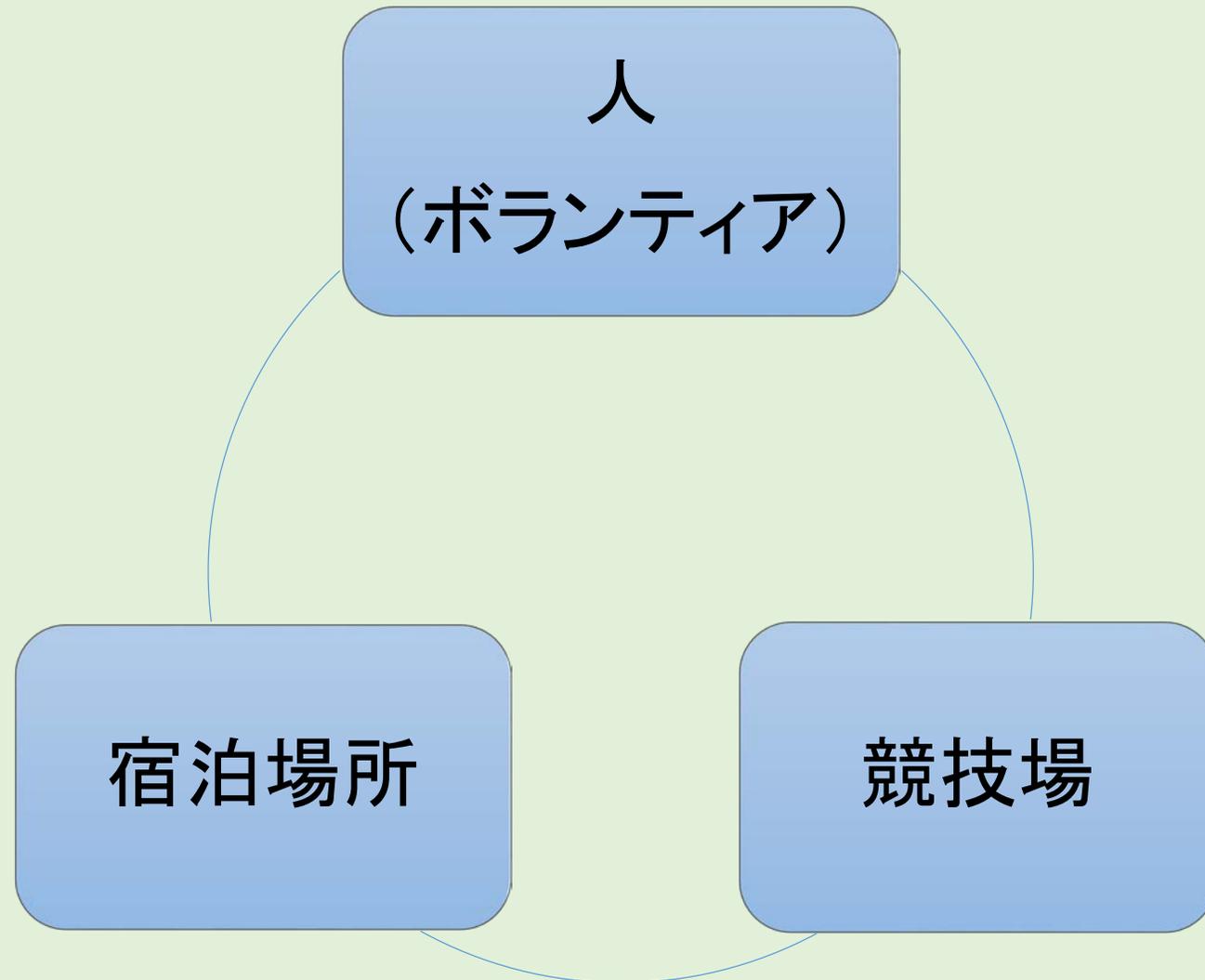
33種目

=

6732か所

日本には47都道府県あるが、500か所と予想しても、単純に1つの県に10近くのキャンプ地が来ることになる。

キャンプ地に求められる3つの要素



1-2. 事例分析 キャンプ地のレガシーとは？

先行事例① ～大分県 中津江村～

カメルーン代表を応援する村民

W杯後、大会、合宿地として活用されるグラウンド



カメルーンが敗れて悔しがる村民。 よく頑張った。



出典

http://image.search.yahoo.co.jp/search?p=%E4%B8%AD%E6%B4%A5%E6%B1%9F%E6%9D%91&search.x=1&tid=top_ga1_sa&ei=UTF8&fr=top_ga1_sa#mode%3Ddetail%26index%3D0%26st%3D0

出典 ; <http://www.plus-blog.sportsnavi.com/kabosu/article/51>

1-2. 事例分析 キャンプ地のレガシーとは？

先行事例① ～大分県 中津江村～



- ・2002年 FIFAワールドカップ
- ・カメルーン代表の事前キャンプとして利用。(滞在期間5月24日～31日)
- ・主な練習施設: 鯛生^{たいお}スポーツセンター

獲得したレガシー

- ・中津江村(現在は村としては消滅)の知名度アップ
- ・カメルーンとの交流 ⇒ カメルーン杯の開催、スパイクの寄付など
- ・サッカーの合宿地として ⇒ 年間15,000人が訪問！
- ・地元のサッカー振興 ⇒ 鯛生スポーツセンターの年間利用者数は目標の3万人を上回る3万8000人

1-2. 事例分析 キャンプ地のレガシーとは？

先行事例② ～長野県 松本市～

- ・2002年 FIFAワールドカップ
- ・パラグアイ代表の事前キャンプとして利用。(滞在期間5月19日～27日)
- ・主な練習施設: 信州スカイパーク アルウィン



獲得したレガシー

- ・プロサッカークラブの創設 ⇒ 松本山雅FC設立へのきっかけになった。
- ・チラベルト杯の開催・継続 ⇒ U12が対象、2016年で第15回、参加チーム87

出典 ; http://image.search.yahoo.co.jp/search?p=%E3%82%A2%E3%83%AB%E3%82%A6%E3%82%A3%E3%83%B3&search.x=1&tid=top_ga1_sa&ei=UTF-8&fr=top_ga1_sa#mode%3Ddetail%26index%3D4%26st%3D0

現状のまとめ

- ①東京オリンピックには多くのキャンプ地が必要。日本全国の町にチャンスがある。
- ②キャンプ地には、一定水準のスポーツ施設・宿泊場所・地域の人々の支え（ボランティア経験、組織）が揃っているという利点がある。
- ③キャンプ地を上手に活用することができれば、大会以降もその地域に残った遺産（レガシー）を活用して、スポーツを通じたまちづくりにつなげることができる

野球の町として、町づくりに取り組んでいる「徳島県阿南市」で、

どのようなレガシーを残し、町を活性化していくことが可能なのか、検討を行った。

～阿南市＝野球を目指して～

- ・徳島県東部
- ・人口 72,631
- ・産業 タケノコ生産量日本一

阿南市の現在

「野球のまち阿南構想」として、野球のまち推進課を設置

- ・少年野球の全国大会の開催
- ・大学野球や北信越地区の高校野球チームの全国選抜大会の直前の強化合宿の誘致



「野球といえば、阿南市」という**ブランド力**を持った町づくりを展開しようとしている！！

2. 政策提案（作戦フロー）

阿南市が五輪キャンプ地になる！

現在以上に

- ・野球関連施設
 - ・宿泊環境
 - ・ボランティアの量と質の向上
- ⇒ レガシーとしての資源

政策提案1
国際交流プログラム

政策提案2
スポーツ合宿の聖地化

野球のまち 阿南 として国内外へブランド構築

キャンプ地が決まるまで

【キャンプ誘致の方針を決定する】



【キャンプ誘致の意思を表明する】

意思表示申請書提出期間 2015年3月20日～2018年7月31日



【ガイドの公開】

国内において大会期間前トレーニングを実施するのに相応しい施設を全てのNOC / NPCに紹介し、国内に一つでも多くの事前キャンプが誘致できるよう支援する目的をもって作成するもの



【選手団との交渉】



【キャンプ地の決定】

競技や種目によって出場決定の時期が異なるため、キャンプ地の選定や決定時期も異なる。1年前に決定するところもあれば、既に決定しているところもある。(例 千葉 アメリカ陸上チームなど)



誘致にあたっての必須条件

①練習施設(会場)

トレーニング会場として、各競技の国際競技連盟の技術要件を満たす機能や仕様が備わっていること

②宿泊施設

旅館業法(昭和23年法律第138号)の「ホテル営業」「旅館営業」「簡易宿所営業」許可を受けている施設、貸室・貸家施設、又は大学の学生寮や合宿寮などの施設であること

野球の練習施設に係る要件はまだ発表されていないが、
上記の2つは整備する必要がある

2-1. 合宿地になることで、整備されるレガシー

表1. 阿南市の持つ資源

野球関連施設	宿泊等について	ボランティア&おもてなし
<ul style="list-style-type: none"> ・あぐりあなんスタジアムetc 4球場あり ・あなんアリーナ（屋内多目的施設） 	<p>「寿殿 えもと」（球場から500M） ⇒ 宿泊定員80名と収容人数の不足 ⇒ 民泊を含めた対策が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・審判、放送記録員などスタッフあり ・60歳以上のチアガール ABO60



出典

http://image.search.yahoo.co.jp/search?p=%E9%98%BF%E5%8D%97%E5%B8%82%E5%A4%9A%E7%9B%AE%E7%9A%84&search.x=1&tid=top_ga1_sa&ei=UTF-8&fr=top_ga1_sa#mode%3Ddetail%26index%3D0%26st%3D0

出典http://image.search.yahoo.co.jp/search?p=ABO60+%E9%98%BF%E5%8D%97&ei=UTF-8&fr=top_ga1_sa#mode%3Ddetail%26index%3D6%26st%3D0

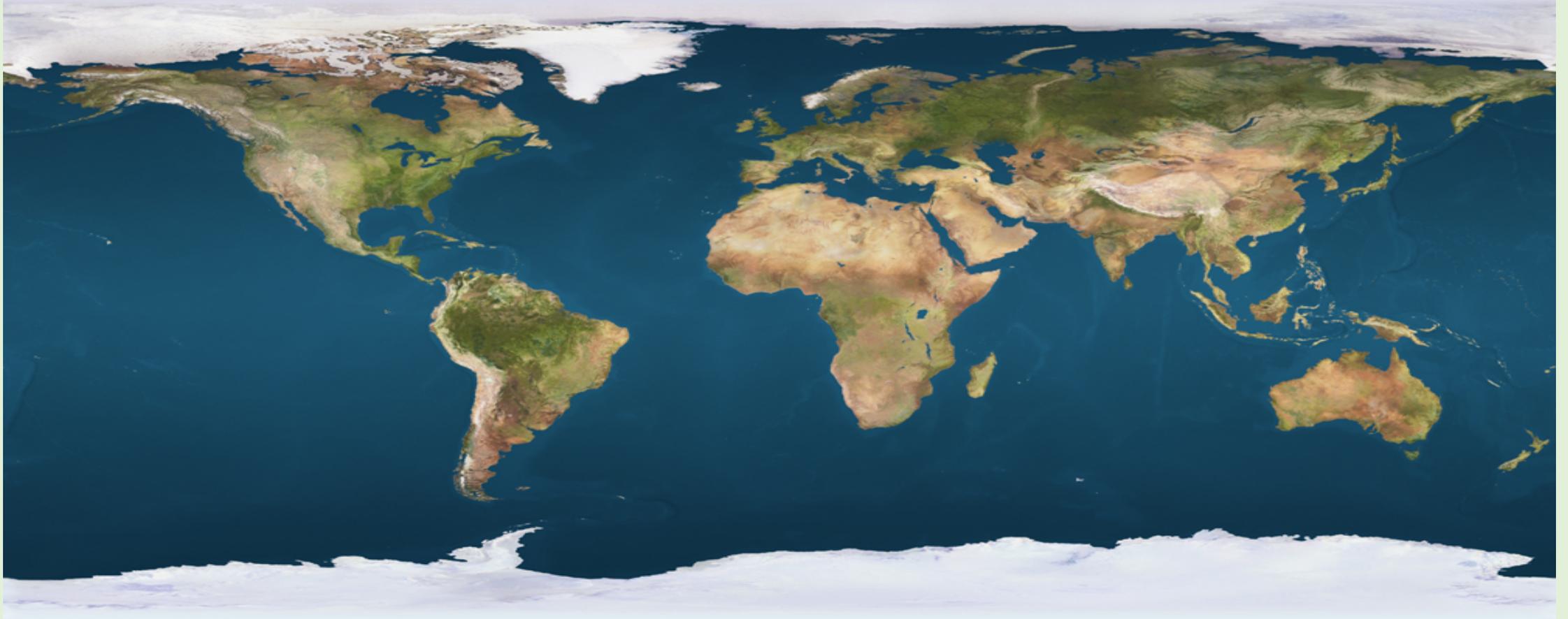
野球のキャンプ地としてのレガシーを活かした政策提案

政策提案1
国際交流プログラム

政策提案2
スポーツ合宿の聖地化

ゴール！
野球のまち 阿南 として国内外へブランド構築

1. 国際交流プログラム



野球を通じて、地元や町外、県外の方々が外国人の方々と交流を行うとともに、日本の文化を理解をしてもらえるような体験活動を交流プログラムとして行う。

対象 出場国の小学校高学年～中学生

- 二泊三日のプログラム

	7時	9時	11時	13時	15時	17時	19時	21時	22時
一日目				受付 13～14時 開会式	①自己紹介 国紹介タイム アイスブレイク	②自然体験 文化学習	③伝統料理 子供野球サミット	入浴 休憩	消灯
二日目	ラジオ体操 朝食		④合同練習	昼食 休憩		⑤国別リーグ戦	伝統料理 ミーティング	入浴 休憩	消灯
三日目	ラジオ体操 朝食		⑥国別トーナメント	閉会式 12時～					

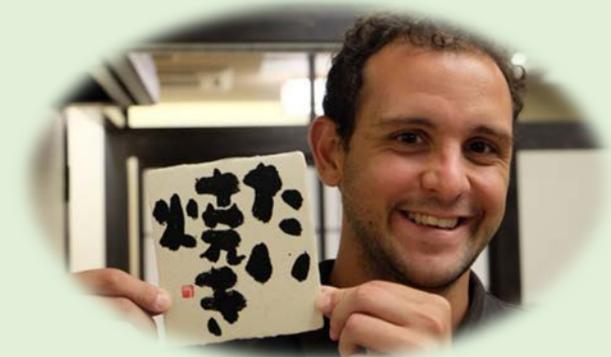
	7時	9時	11時	13時	15時	17時	19時	21時	22時
一日目				受付 13～14時 開会式	①自己紹介 国紹介タイム アイスブレイク	②自然体験 文化学習	③伝統料理 子供野球サミット	入浴 休憩	消灯
二日目	ラジオ体操 朝食	④合同練習		昼食 休憩	⑤国別リーグ戦		伝統料理 ミーティング	入浴 休憩	消灯
三日目	ラジオ体操 朝食	⑥国別トーナメント		閉会式 12時～					

①自己紹介、国紹介、アイスブレイクタイム

自国の国の文化や歌や踊りを発表し合い、他国の理解を深める

②自然体験、文化学習

魚のさばき体験、うどん打ち体験、書道などを、日本の子供たちが中心となって教える。



	7時	9時	11時	13時	15時	17時	19時	21時	22時
一日目				受付 13～14時 開会式	①自己紹介 国紹介タイム アイスブレイク	②自然体験 文化学習	③伝統料理 子供野球サミット	入浴 休憩	消灯
二日目	ラジオ体操 朝食	④合同練習		昼食 休憩	⑤国別リーグ戦		伝統料理 ミーティング	入浴 休憩	消灯
三日目	ラジオ体操 朝食	⑥国別トーナメント		閉会式 12時～					

③子供野球サミット

- 1.2020年、野球がオリンピック種目に選ばれたが、今後も野球が継続して選ばれ続けるにはどうしたらいいか
 - 2.世界の野球を盛り上げるにはどうしたらいいか
 - 3.自分たちの国の野球の現状と課題
 - 4.戦術やトレーニング方法
- これら4つを身振り手振りで話し合う。

	7時	9時	11時	13時	15時	17時	19時	21時	22時
一日目				受付 13～14時 開会式	①自己紹介 国紹介タイム アイスブレイク	②自然体験 文化学習	③伝統料理 子供野球サミット	入浴 休憩	消灯
二日目	ラジオ体操 朝食	④合同練習		昼食 休憩	⑤国別リーグ戦		伝統料理 ミーティング	入浴 休憩	消灯
三日目	ラジオ体操 朝食	⑥国別トーナメント		閉会式 12時～					

④合同練習

⑤国別リーグ戦

⑥国別トーナメント

2.野球のスポーツ合宿の聖地化に向けた2つの取り組み

取り組み①
雪国の冬季キャンプ



取り組み②
補欠選手の甲子園！



野球環境に恵まれない人(チーム)を応援する町、阿南市を目指す

①雪国の冬季キャンプ地として



私たちの問題意識・・

Q 冬に雪が降り積もる北海道、東北、北信越地方の高校野球チームは冬場、どのような練習を行うか？

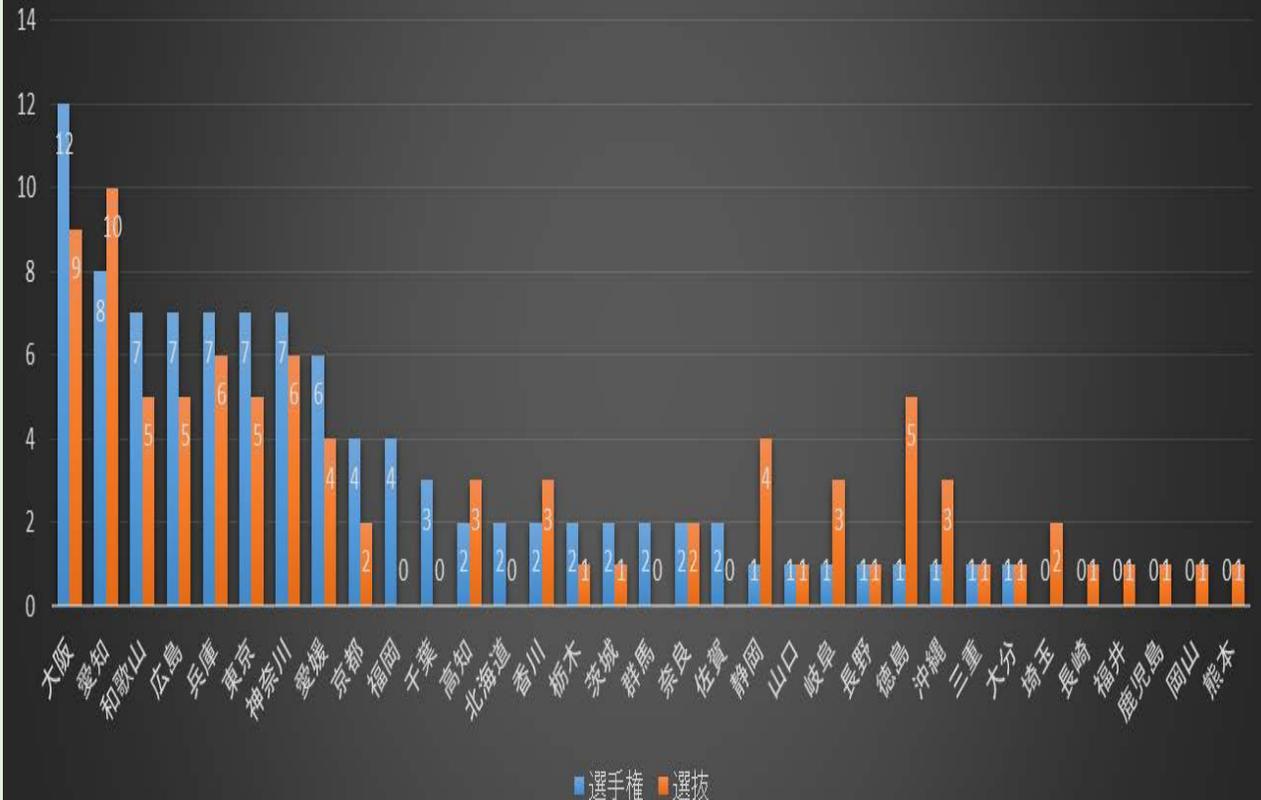
A ランニングやウエイトなどボールやグラウンドを使わない練習を行う。(例外あり。室内練習場を持つ高校)

冬場もグラウンドで練習ができる地域のチームと差ができてしまうのでは！？

①雪国の冬季キャンプ地として

実際にデータを見てみても・・・

甲子園(春の選抜・夏の選手権)都道府県別優勝回数



夏の甲子園大会

- ・北海道 優勝2回！
- ・東北6県は優勝回数は、なんと0回
- ・北信越5県も・・・
⇒長野県の1回のみ。

春の選抜大会では

- ・北海道 優勝0回
- ・東北も0回・・・
- ・北信越5県は・・・

福井県、長野県の1回ずつのみ・・・

冬場の練習の質が強さと関係がある！？

①雪国の冬季キャンプ地として

そこで！！！！

冬でもほとんど雪が降らない阿南市の気候を利用して、冬でもキャンプ地として設備が整っている施設で合宿を行う。



冬場、満足に練習ができない地域の人々の競技力向上につながる。室内施設が整っていない公立野球部を中心に招致することを計画している。

野球のスポーツ合宿の聖地化に向けた2つの取り組み

取り組み①
雪国の冬季キャンプ



取り組み②
補欠選手の甲子園！



野球環境に恵まれない人(チーム)を応援する町、阿南市を目指す

②補欠選手の甲子園 ～あなんスタジアム～

夏の高校野球大会で甲子園大会に出場チームの《**補欠選手**》、←特に3年生を想定！の全国大会を「あなんスタジアム」で開催する！

野球(スポーツ)は上手な人たちだけのものではない！補欠の選手だって、負けないくらい野球が好きだ！レギュラーと同じくらい試合がしたい！応援だけで終わらせない夏にする！

阿南市を高校球児の第2の聖地へ



3. 政策評価 PDCAサイクル



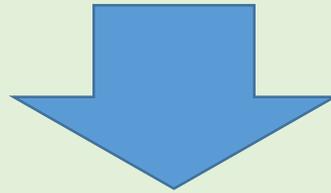
政策を行った際の評価基準

国際交流プログラム	海外からの参加者	子供参加者数	毎回40人以上	
	阿南市からの参加者	子供参加者数	毎回40人以上	
	全体	プログラムの継続性	2年に1回、10年間継続して実施	
		国際的な知名度向上	海外からのHPアクセス数が毎年度、前年以上になる	
		国内的な知名度向上	TV、新聞での掲載回数が毎年度、前年以上になる	
スポーツ合宿の聖地化	冬季合宿	参加校数	冬休み、春休み期間の合宿高校数が6校以上	
		競技力向上	合宿参加チームから全国大会の出場校が出る	
	もうひとつの甲子園	出場校数	甲子園出場チームの1/3	
		PR	大会公式twitterのフォロワー数1000人	

まとめ

2020年東京オリンピックでは、500近くのキャンプ地が必要。

日本中のどの地域でもオリンピックを当事者としてかかわる**チャンス!**



徳島県阿南市を「野球」のキャンプ地にし、この町を野球の聖地にし、阿南市といえば「野球」となるようなブランド力を高め、町の子供から高齢者、町外や県外の人たちまで野球を通じて、皆で阿南市を支えるような町づくりを、私たちは企画した。

まとめ

- ✓阿南市は、野球関連施設・宿泊施設・ボランティア & おもてなしなど**キャンプ地にするための設備が整っている。**
- ✓ここで、野球を通じて、地元や町外、県外の方々と外国人の方々と交流を行い、日本の文化を理解をしてもらえるような体験活動を**交流プログラムとして行う。**また、**国内的、国際的な知名度の向上を目指す。**
- ✓冬季合宿を行い、北海道、東北、北信越地方の高校野球チームの**十分な練習環境を整える。**
- ✓補欠選手の甲子園 **野球環境に恵まれない選手にも目標となる環境を整える。**

最後に・・・

自分たちは、これらの取り組みを通して、徳島県阿南市に2020年東京オリンピックの野球のキャンプ地として誘致し、政策を実行し、阿南市の町おこし、活性化を目指します。